

月刊 地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

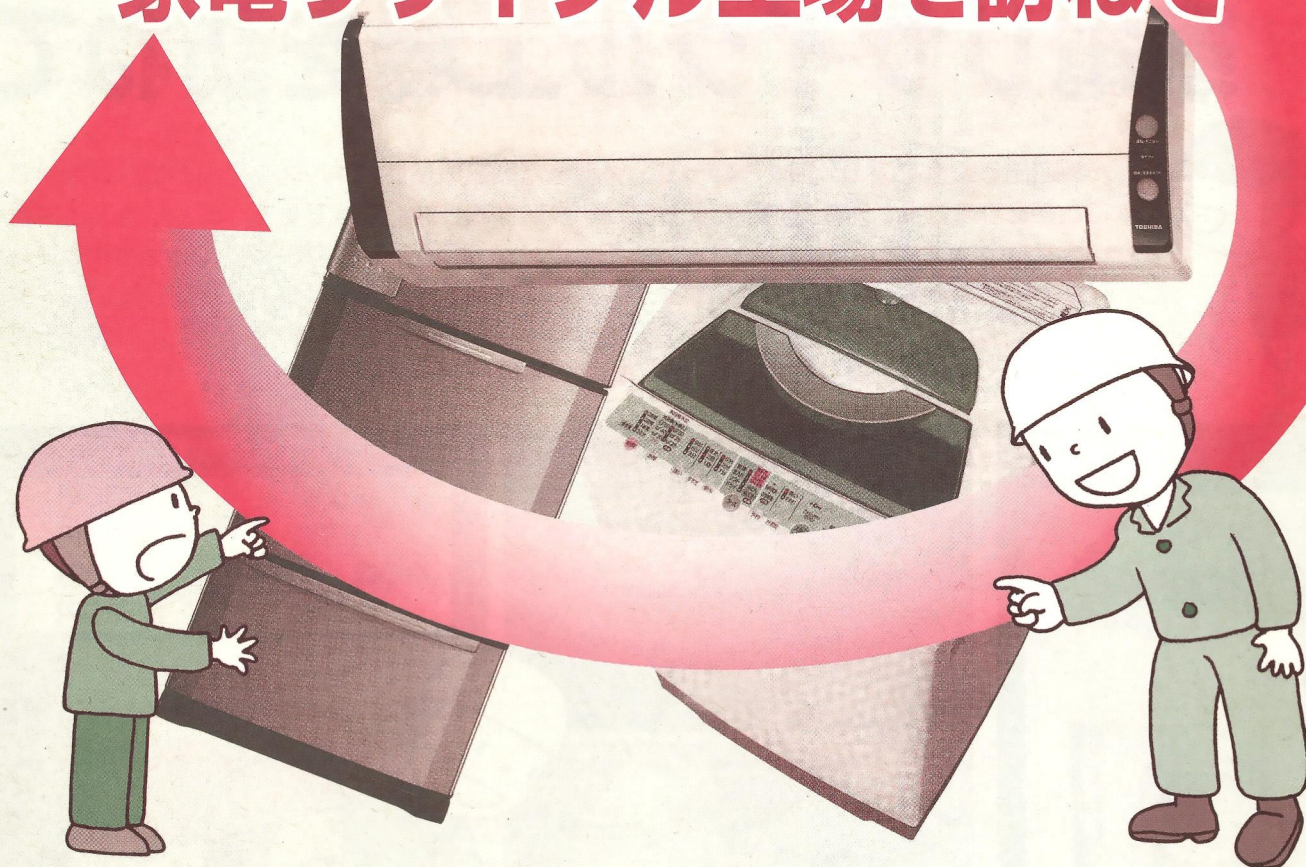
No.117 2004. 6

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

家電リサイクル工場を訪ねて



- 教えて、聞かせて ついに… “びん入りラムネ” を売ったのだ！ ————— P3
- 今月のリサイクルデザイナー ————— P6
- エコクッキング 茶葉料理・コラム「リサイクル今とむかし」おぼれ話 ————— P7
- 今年も環境絵日記募集します・環境絵日記 ————— P8

家電リサイクル法ってなあに？

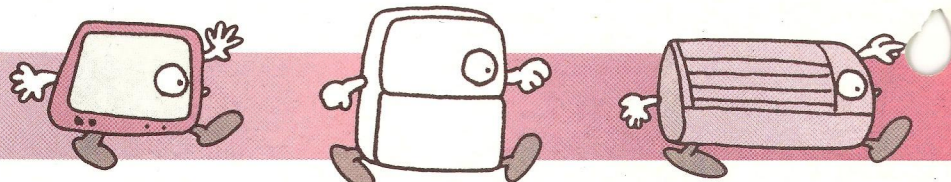
まずは家電リサイクル法について、簡単に説明しましょう。これは、使用済み家電製品の再商品化を義務づける法律で、平成13年4月から施行されています。以前は粗大ごみとして処分されていた家電製品を回収し、リサイクル工場で再び原材料にもどすことを目的としています。

対象となる商品は、テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫、それに4月1日から冷凍庫も加わりました。これらが対象になった理由は、ガラスや金属など再利用できる様々な資源がたくさん含まれているからです。それぞれの種類別に“リサイクル率”が定められています。重量比でテレビなら55%以上、エアコンは60%以上…、というように。

私たちがそれらを買替えるときは、新しい物の購入先に古いほうを引き取ってもらいます。引越など、買替えてない場合はかつて購入した店に引き取ってもらうか、横浜家電リサイク

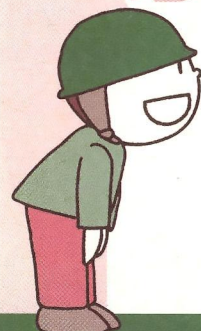
ル推進協議会（電話・0120-014-353）に相談します。どの場合もリサイクル費用（リサイクル券を購入し、引き取ってもらう物に貼る）に加え収集・運搬に必要な費用を負担することになります。収集・運搬費用は自治体や小売店によって異なります。

使い終えた家電製品は私たちの元からリサイクル工場へ運ばれますが、リサイクル券の写しは3年間大切に保管されます。自分の出した物が適正に処理されたかどうかどうかを、追跡調査することも可能なシステムが作られた、というわけです。



ブロックのように積み上げられたテレビ。

家電リサイクル工場を訪ねて



毎日出る家庭ごみの分別とちがって、大型家電製品のリサイクルはふだんあまり意識することがありません。何年も使ったテレビがいよいよ映らなくなってしまって、じゃあ、と重い腰を持ち上げたらいきなり降りかかってくるのが“家電リサイクル法”という感じも少し。

さて、そんな大型家電製品のリサイクル。法律自体のこともあまりよくわからないし、引き取ってもらうのはいいけれど、その先いったいどんな道をたどるのか??? 百聞は一見に如かず。実際に工場を訪ねてみると、たくさんのゲンジツがわかりました。



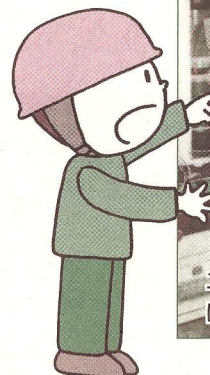
工場見学の際は、初めにエアコンや洗濯機などの内部が見えるように加工したものを渡し、それらがさまざまな素材で作られていることを教えてもらえる。素材別にきちんと分けることがいかにたいへんか、想像できる。



テルムではパソコンのリサイクルにも取り組んでいる。小さな部品が素材や純度別に細かく分けられる。

リサイクル費用

テレビ	2835円
エアコン	3675円
冷蔵庫・冷凍庫	4830円
洗濯機	2520円



エアコン室外機。ファンにこびりついたほこりの量は半端じゃない。



解体が終了したエアコン室外機は、みごとにバラバラ状態。ここで、素材別にコンテナに投げ込まれる。

STEP!!

リサイクル工場では何をしているの？

リサイクル工場は、大きく二つのグループに分かれています。東芝、松下など21社のメーカーから指定を受けているAグループと、その他大手5社が主体となって運営するBグループです。今回はAグループの工場のひとつ、鶴見区にある（株）テルムを訪ねました。リサイクルの工程は工場によって様々なので、テルムの場合、ということで説明します。

●ベルトコンベアに乗った家電がどんどん小さくなっていく

テルムではテレビとエアコン、洗濯機のリサイクルを行っています。天井の高い大きな工場の中には、テレビとエアコン用に8本のローラーコンベアが敷かれていて、その上を流れる家電品が何人もの作業員の手を経てどんどん原形をなくしていきます。響くのは電動工具の音、カンカンと金属をたたく音、そして飛び散る火花……。ふつう、こういった工場の中はほこりっぽいことが多いのですが、ここではローラーコンベアの下に集塵機が空気をいつもきれいにしてくれているため、広い構内のすみずみまでが見渡せます。

ラインの向こうにあった古い家電製品が、こちら側に届くころにはすべて小さな部品へと解体・分解され、素材別に分けられています。アルミや鉄、銅線といった金属の種類ごと、プラスチックの仲間、ガラスなど、きちんと分けることでそれらはすべて再び資源として生まれ変わります。

●ここでも、きちんとした分別が行われているのだ

テルムから再生資源化メーカーに送られたあとは、テレビのブラウン管は新しいブラウン管に、洗濯機から取り出した高品質のポリプロピレンは再び洗濯機の台枠などに、エアコンのコンプレッサは鋼材、銅材として活用されます。驚いたのは、エアコン1台の熱交換器から取り出したアルミで、350mlのアルミ缶がなんと253本も作れるというお話し。テレビのブラウン管が2種類のガラスを貼りあわせてできていることや、テルムではそのガラスに近赤外線を照射することできちんと分離し、純度の高いガラス原料を作っていることにも感心しました。

JUMP!!!

メーカーへの提案で、よりリサイクルしやすい製品作りを

これまでは、デザインの良さや省エネであることが要求されていましたが、リサイクルが注目されるこれからは有害物質を使わないことや、解体・分解しやすいことも家電製品に求められる、ということが納得できました。異なる素材の部品を接合してしまうと、資源化が難しい、あるいはできないことなどから、テルムではメーカーに直接働きかけ、そういった点での製品の見直しを求めたりもしています。リサイクルを考えるなら、まず初めに物を作るところに立ち返ろうということは、家電製品に限らず何にでも言えることですね。

さて、個人的な感想ですが、工場内にうす高く積み重ねられていた廃家電を見て、私はうなっていました。“うちで活躍中の現役くんたちより、ずいぶん新しくきれいな物が多いなあ”と。きちんとしたリサイクルはもちろん大切ですが、一消費者としてまず念頭に置くべきことは、使えなくなるまで使いきることじゃないかな、と考えます。たったひとつの部品を交換すればまだ使えるものが、その山の中にどれだけあるだろう、と思うと少し心が痛みました。

取材協力：（株）テルム



ついに“びん入りラムネ”を売ったノダ!!



つづきとまつりは、都筑区で毎年5月に開催されている子どもたちが主役のイベント。いろいろな種類の模擬店や、講師を招いての“ふれあいトーク”、区内の団体や個人有志によるチャリティーこどもフリーマーケットなど盛りだくさんの内容です。収益金の8割を児童福祉週間団体とW.F.P.（世界食糧計画）に寄付するというのが、このイベントの大きな目的です。そのため、参加している子ども企画委員たちも世界の平和や環境問題などへの関心がとても高い様子。去年から「おまつりの後に出るごみを減らそう」と工夫してきましたが、今年はびん入りのラムネの販売に取り組みました。リユース＝再使用への働きかけです。他にもいくつかのごみ減らしのアイデアが見られました。



今年こそ、の願いかなって

去年はラムネの間屋さんに注文するのが遅れ、販売できなかったという経緯があり、今年はどうしても！という思いで早々に注文しました。その結果希望どおり150本を仕入れることができ、期待に胸をふくらませて迎えた当日。残念ながらどんよりとした空からは、まつりスタートと同時に雨が降ってきました。これでは、飲みものなんかあまり売れないかもしれない……。そんな不安がみんなの頭をよぎりました。

その予想に反して売れる、売れる、びん入りのラムネ。雨にぬれながらお店を切り盛りする子どもたちはとても忙しそう。お客さんの声をきいてみましょう。

「この、びんの形がいいな。飾っておきたいって思う」（気持ちはいくわがるよ。でも、びんはちゃんと返してね）
「やっぱり、びんのラムネがいいですね。このあいだ〇〇スーパーでびん入りを見つけて買ったんだけど、びんを回収しますとは言われなかったの。」

どうしたらいいのかしら」

「飲む時、カラカラって鳴るのがうれしい」

「生まれて初めて飲んだ！ おいしい！ りんごジュースと混ぜたらちょうどいい感じでよけいおいしい」

などなど、だれもみな満足そうな表情です。



150本完売、びんの回収率は93%超

販売する時、「びんはここに返して下さい」と声をかけるとともに“ラムネびん物語”というチラシを配りました。そこには、びん入りラムネの歴史や、リユースしないとラムネがこの世から消えてしまう、ということなどが書いてあります。その効果があったのでしょうか、完売した150本のうち140本のびんがちゃんともどってきました。当初、こどもたちの間でも、あまりたくさん返ってこないのでは、という見

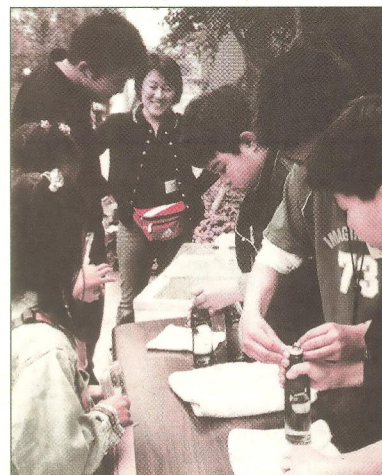
方が強かったのですが、その予想がみに外れました。びんが返ってこない、100円で売ったら赤字になってしまうのがラムネ。去年の会議ではデポジット制（預かり金を取っておき、びん返却時に返金する）にしようという案も出ましたが、「人を信じてやってみよう」と赤字覚悟で100円で売った子どもたちの心がお客さんに通じたのでしょうか。リユースの訴え、大成功です。

わた菓子ならぬ“エコ菓子”に、たくさんの分別ごみ箱……

他にもごみを減らすための工夫がありました。ひとつは、わた菓子の芯に割りばしでなく長い棒状のお菓子を使ったエコ菓子。ごみが出ない上に棒まで食べられるお得感で、大人気でした。それから、食べ残しや、豚汁や焼そばの入れ物、割りばしを分けて入れてね、というたくさんの分別ごみ箱。豚汁の容器も焼そばの容器も割りばしも、現在のところ後で結局は一緒にされるものですが、分けて入れるとかさが減るということだけでも伝えたい、という思いから出た案です。

ごみ減らしをつきつめれば、マイはし、マイ容器を持参してもらうのが一番ですが、通りすがりのお客さんが多いイ

ベントではなかなか難しいもの。環境問題をメインテーマにしたイベントやサッカーのワールドカップなどでは、レンタル食器を使ったりデポジット制を導入したりということもあるようですが、このつづきとまつりでこれから先どんな工夫が生まれるのか楽しみです。



ラムネびんの口を開けた経験がないお客さんのために、ラムネ係は大いそがし。



平成15年度達成状況と ごみ排出量の目標値 平成16年度

(単位:トン)	平成13年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 目標
市全体 ※1	1,609,155	1,532,340	1,439,550
家庭系ごみ ※2	934,761	919,613	898,686
家庭ごみ	900,826	885,985	865,058
事業系ごみ	674,394	612,727	540,864
対13年度		▲4.8%	▲10.54%
		▲76,815	▲169,605
13年度時の目標値		▲3.3%	▲7.46%
		▲53,255	▲120,095

※1 家庭系ごみ + 事業系ごみ

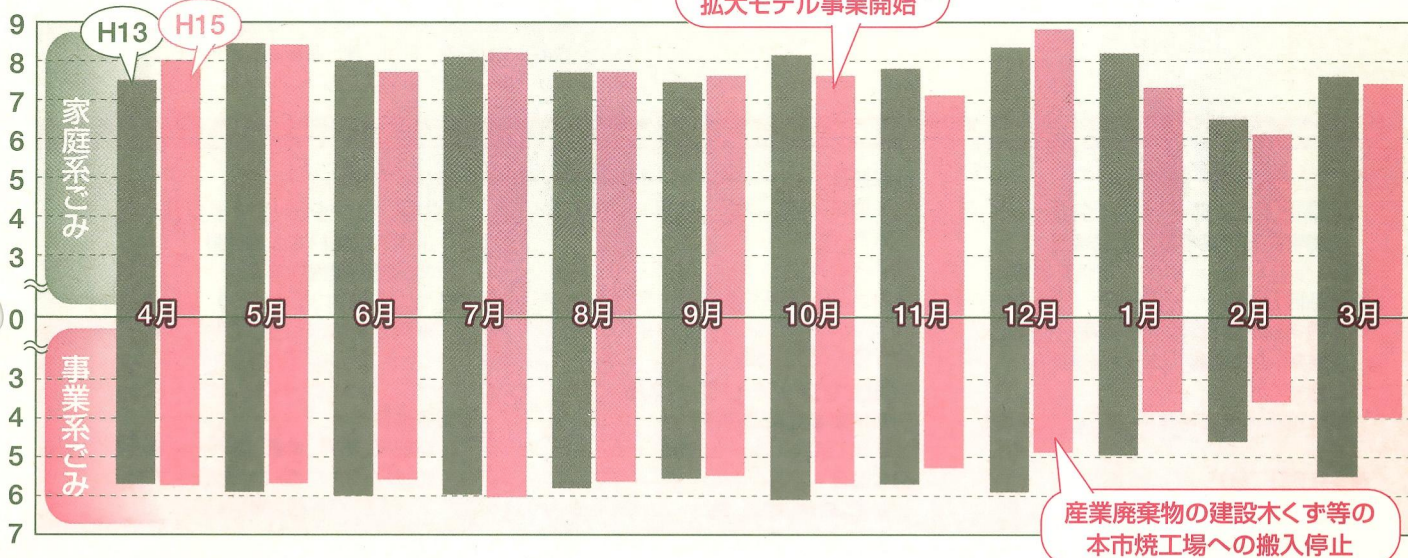
※2 家庭ごみ + (資源となるものと粗大ごみのうち資源化できなかったもの) + その他(不法投棄等)

平成15年度のごみ排出量は、約153万2千トンで、平成13年度に対して約7万7千トン(▲4.8%)の減少となり、目標の155万6千トン(▲3.3%)を上回る結果となりました。

内訳では、家庭ごみを含む家庭系ごみが、平成13年度に対して約1万5千トン(▲1.6%)減少し、事業系ごみが約6万2千トン(▲9.1%)減少し、ともに目標を達成しました。

平成16年度の目標は全市のごみ排出量を平成13年度に比べ17万トン(約10.54%)削減することとしました。

月別ごみ排出量推移 (単位:万トン)



横浜G30プランの分別収集品目拡大 6区先行実施の決定

モデル事業の実施による市民意識の高まりや、早期全市実施に対する市民からの要望などに応えると共に、横浜G30プランの目標達成にむけたスピードアップを図り、家庭から出るごみの減量・リサイクル

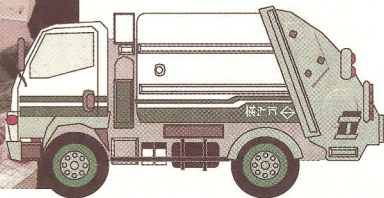
をいっそう推進するために6区で先行実施します。

先行実施する6区は南区・港南区・磯子区・金沢区・栄区・泉区です。分別品目のひとつであるプラスチック製容器包装の

中間処理について、平成17年4月までは処理可能な事業者が金沢区の1社しかなく、収集効率を考慮して金沢区とその近隣区が選定されました。また、事業者の処理能力をこえない限度で、なるべく多くの収集量が見込めるよう人口等に配慮して決められました。

市民の皆さんの「イザ!」に貢献。

約500台の収集車で、市内約5万7千か所のごみ集積所を回る、
ごみ収集職員等が救急救命技術をマスターします



横浜市には、ごみ集積所が約5万7千か所あり、毎日約500台の収集車が市内をくまなく回っています。毎日、地域の市民生活に密着している、ごみ収集業務の特性を活かし、安心して暮らせる市民生活のために、ごみ収集職員等が救急救命技術を学んでいます。

これは、「ごみ収集作業中に住民の事故や急病に遭遇した場合、自分たちが応急手当をすることができないだろうか」という環境事業局の現場の収集職員から提案があり、実現したものです。

平成16年2月より、救急救命技術（応急措置技術）をマスターするために、消防局と横浜市防災指導協会の協力を得て、収集職員を対象とした「普通救命講習会」を実施しています。政令指定都市としては初めての試みとして、市の収集職員全員（予定者数約1600人）が受講します。

また、これも政令指定都市初の試みですが、「普通救命講習」を指導できる資格の「応急手当普及員」を各事務所2名程度養成して5月に配置します。これにより、各事務所内で「普通救命講習」を行える体制を整えます。



リサイクル掲示板

ファイバーリサイクル

●神奈川区 6月5日・12日（土）

場所：区内12か所 時間：13:00～15:00

回収しないもの：布団、枕、革製品、人形、ビニールなど。

問い合わせ 神奈川区ごみゼロ推進担当 TEL411-7091

センターリサイクル ※品目ごとに分別を。事業系ごみは不可。

●6月6日・13日（日）

・青葉区 センターリサイクル

環境事業局青葉事務所裏駐車場

時間：午前9:30～12:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、牛乳パック、
繊維類、小物金属、リターナブルびん

問い合わせ

環境事業局青葉事務所 TEL 975-0025

●6月6日（日）

・泉区 センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、
毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、
アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所 TEL 803-5191

●6月12日（土）

・センターリサイクル inせや

瀬谷区二ツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古着、
古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所 TEL 364-0561

●6月12日・19日（土）

・南区センターリサイクル

環境事業局南事務所

時間：午前9:30～11:00

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、紙パック、アルミ
缶、スチール缶、びん類、プラスチック製容器
包装、古布

問い合わせ

環境事業局南事務所 TEL 741-3077

●6月13日（日）

・かながわ センターリサイクル

神奈川区 反町公園（神奈川区役所側）

時間：午前10:00～午後1:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、
古着・古布（肌着、シャツ、タオル類のみ）、
白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ TEL 413-3196

●6月19日（土）

・中区 センターリサイクル

①横浜公園日本大通り側

②環境事業局中事務所

時間：午前9:30～11:30

※雨天実施、車で搬入可

（ただし横浜公園内には車の乗り入れはできません。案内人が誘導します。）

回収品目

新聞紙、雑誌、雑紙、段ボール、紙パック、古布、
缶、びん、ペットボトル、リターナブルびん、
プラスチック容器包装、スプレー缶

問い合わせ

区役所ごみゼロ推進担当 TEL 224-8140

●6月20日（日）

・旭区 センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00 ※雨天実施

回収品目

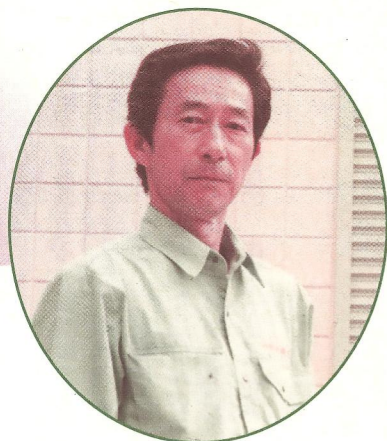
新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、
リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶、金属くず
プラスチック製容器包装、スプレー缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所 TEL 953-4811

常に一步先を見て 事業をすすめる

有限会社 田村商工
田村 孝二さん



先代からの基盤と先を読む目を受継ぐ努力

田村商工は主に横浜市内の物を集め、運んで処分する仕事をしています。南区にある本社と、戸塚区にある倉庫、そして今年金沢区に中間処理場を作り6月から稼働させます。3つの仕事を従業員5人で動かしている田村さんは2代目。学校を卒業してすぐにこの仕事につきました。

「今のようにリサイクルという言葉がなかった若いころは恥ずかしかったですよ。特に先代から『頼むぞ』と言われたわけではなく、長兄がいち早くサラリーマンになり家を出たので、当たり前のようにこの仕事につきました。仕事はキツイです。かなり・・・じゃなくてメチャメチャ(笑)。生きることや生活のために仕事をするって辛いことです。でもね、やっぱり先代が積み上げてきてくれたものがありますし、忙しいほど仕事があるってことは感謝することです。兄弟で仲良く仕事ができるっていうのもいいことだと思います。男だから事業を大きくしたいという欲もあるんです」

18年前に亡くなった先代は、電線の皮をむいて中の銅線と仕分ける機械を横浜で誰よりも早く考えて作った人。田村さんは、その先を読む目や基盤を受け継いでいくために日々努力しています。

「ある大きな会社に事業内容を勉強しようと思って出かけたんです。夜遅かったのでやっていないかなと思ったら電気がこうこうと点いていた。世の中の流れが速くなっているの、人と同じように仕事をしていては伸びないんです。常に一步先を見る。そして一步先をいく。常に先頭に立って後ろが追いついてきたら突き放すぐらいの勢いがないとだめでしょうね」

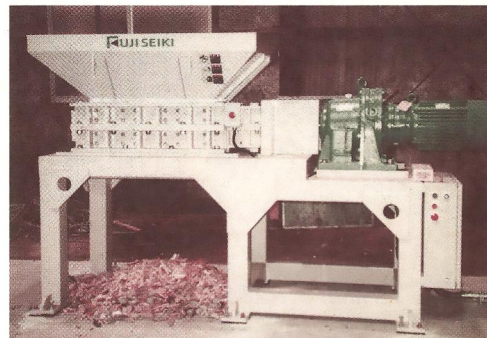
地域の人とのつながりが仕事につながる

地元では町内会の役員を引き受けたり、仕事上で建築業者の安全協力会の役を引き受けたりしています。そうして知り合った仲間から請け負う仕事もあり、いろいろな人とのつながりが仕事につながるのを実感しています。

今年はディーゼル車の排ガス規制法による車の買い替えや、中間処理場を作るためにかなり投資をしたという田村さん。

「もうやるしかないでしょ。男としての冒険心ですね。そのために努力しています。

いい若い衆たちとの出会いもあって成り立っています」
一步前を見据えながら、今、しなければならぬことに全力でぶつかっていき意気込みを語ってくれました。



プロフィール

1949年(昭和24年)生まれ。54歳。横浜市南区に生まれ育ったハマっ子。姉1人を含めた5人兄弟の次男。末弟と一緒に仕事をしている。週に1度の休日はゆっくり休み、リサイクルの情報収集のために新聞や雑誌などに目を通している。

環境を考えるなら、
まず自分の“手元”から

デザイナー新、一目でわかる
“リサイクルブランド”

ヨコハマで回収された
牛乳パックだけでできています

牛乳パックは、飲む→洗う→乾かす
→リサイクルデザインボックス
ティッシュに→使う

残念ながら
一度使ったティッシュは
リサイクルには向きません。
使い捨てなら再生品を!

リサイクルデザイン ボックスティッシュ



200組400枚入り/1個

1ケース50個入り(5個1組×10パック) 3,675円(価格は市内送料・税込みです)

*ご注文は1ケース以上でお願いします。11ケース以上の場合、1ケースあたり3,465円になります。1パック(5個)あたりに換算すると347円から368円です。

*市外への発送は別途料金がかかります。

もったいない! ティッシュは使い捨て!?
だから作りました
“牛乳パック100%の再生品”

グループ購入のおすすめ

「10パック(50個)は、多すぎる」
と思ったあなた。グループ購入という
方法もありますよ。

例えば5人で購入すれば、1件(1家族)
あたり2パック(10個)というほど良
い数。町内会や子供会などおぜいの仲
間を集めれば、一度に大量購入もできる
かも。11ケース以上だと、お得な割引
価格になります。玄関先までお届けする
ので、たいへん便利です。

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話/045-316-4050
FAX/045-316-6050

茶葉料理

新茶がおいしい季節です。色も味もフレッシュで、香が高く、日頃とは違う、緑茶の世界が楽しめます。新茶を飲むと、長生きすると言われ、初もの、はしりを珍重する、日本人ならではの風流な想いを、誇りに思います。四季の移ろいを、できるだけシンプルなスタイルで、見たり、味わったり、香りを楽しむことができる。そんな繊細な和の感覚が存在するからこそ、日本料理は多くの人々に、愛されるのでしょう。

最近では、健康志向ブームで、和の食材は、人気が上昇中！その中でも、緑茶を使った健康食品も多く売られています。もちろん、毎日いただくお茶も、体に有効に働いているようですが、そのときにゴミになる、出廻らし茶葉にも、まだまだ体によい成分が残っているのです。正に、あまり茶に福ありです。

ポイッと捨てるのは簡単ですが、お腹の中に入るよう、お料理に使ってみてください。ゴミ箱に捨てるなら、炊き上がったごはんの中へポイッ！これなら簡単！手間無し茶葉料理の、出来上がりです。



材 料

a	米	2cup
	水または緑茶	2cup
	出廻らし茶葉	1/4cup
b	しらす干し	50g
	すりごま	大2
	黒酢または酢	大2
	刻みのり	適宜

作り方

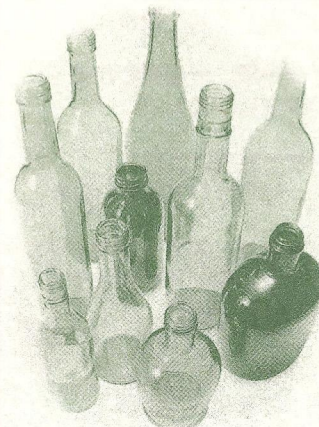
- ① aは、普通に炊く
- ② bは混ぜておく
- ③ ごはんが炊けたら、出廻らし茶葉を、ごはん混ぜる
- ④ ③に②を入れてよく混ぜ、器に装い刻みのりをのせ、いただく



ガラスびんの歴史

飲み物や調味料などの容器として活躍するガラスびんですが、これはそんなにおおむかしから続くことではありません。ガラスと人類のつきあい自体は、3000年以上むかしの古代オリエントに始まりますが、日本には長らくガラスを作る技術がなかったからです。明治時代の1901年にガラスの一升（いっしょう）びんが登場するまで、お酒は酒屋のたるから自分で持って行ったとっくりへの量り売りでした。そもそも、日本にガラスびんがやってきたのは江戸時代末期。1854年にアメリカ人ペリー提督の黒船がやってきたとき、船から海に投げ捨てられたガラスびんを人々が拾い、珍しがったといいます。

その後、ガラスびん入りのビールや他の洋酒が輸入され、貴重なあきびんをリユース（再使用）して使うようになりました。日本酒の一升びんはリユースびんの代表選手ですが、昭和に入ると使い捨てのワンウェイびんが急激に増加してきました。この事態に歯止めをかけようと、ガラスびんメーカーがリサイクルへの取り組みを始めたのは、今からほんの30年ほど前の1974年のことでした。



コラム

『リサイクル
今とむかし』
こぼれ話

このコラムでは、月刊リサイクルデザインの別冊として発行した『リサイクル 今とむかし』に掲載しきれなかった「こぼれ話」を連載します。

今年も環境絵日記募集します



テーマ 今回の環境絵日記のテーマは、
「私の考える地球を救う3か条」



今年も小学生のみなさんから
環境絵日記を募集します。

メインテーマは

みんな 集まれ、エコレンジャー
みなさんからの応募お待ちしております。

地球を救う 3か条その1

1. リデュースレンジャー (reduce発生抑制)

・リデュースレンジャーは「ごみを買わない、ごみをつくらない」

解説:リデュースとは、「減らす」という意味です。買い物するときや食事のときなどでの、ごみを減らすアイデアを描いて下さい。

地球を救う 3か条その2

2. リユースレンジャー (reuse再使用)

・リユースレンジャーは「もったいないから、くりかえしつかう」

解説:リユースとは「繰り返し使う」という意味です。一度使ったものを
ごみにしないで何度も使うようにするアイデアを描いて下さい。

地球を救う 3か条その3

3. リサイクルレンジャー (recycle 再資源化)

・リサイクルレンジャーは「ぶんべつして、しげんにもどす」

解説:リサイクルとは使い終わったものをもう一度「資源(しげん)」にもどす」という意味です。いらなくなったものをごみにしないで原料として再利用するためのアイデアを描いて下さい。
(分別のアイデアでも結構です。)



配布開始 7月1日(木)



しめ切り 9月10日(金) 当日消印有効



審査結果の発表 10月19日開催の「リサイクル
デザインフォーラム」にて発表

環境絵日記へのお問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL045-316-4050
FAX045-316-6050
mail@recycledesign.or.jp

環境絵日記

2003年第9回リサイクルデザインフォーラムの
環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン
誌上でご紹介していきます。



本町小学校2年 うしきようた
8月15日 水曜日 天気大雨
ぼくが考えたこと。
①かいものぶくろをもらわない。
②いらないおもちゃは赤ちゃんに
あげたり、バザーに出したりする。
③食べのこしをなくす。
④生ゴミしよりきをかって、土にする。
⑤ゴミしゅうしゅう日を一週間に
二回にする。
上の絵は、生ゴミしよりきです。
上から生ゴミを入ると、土にな
っててきます。

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび
小結くん
で



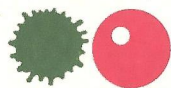
古紙をしばればまるごとリサイクル

1巻きの長さ90m		価格(税込)	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所 ●横浜市青葉区・緑区・磯子区・都筑区・鶴見区・神奈川区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすずきや(戸塚区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦) ●おおぐち通商店街事務所(神奈川区) ●ぶらわろーど杉田商店街事務所(磯子区) ●バラエティたかはし屋(神奈川区)

※振込手数料をご負担ください 販売してくだるお店募集中!



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2004年4月現在
日経 4/29

品 名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新 聞	*** 0円	5~5.5円
雑 誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

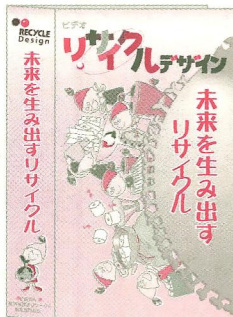
★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかにも車いす(250kgで)にも交換できます。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

リサイクルデザインのビデオ

「未来を生み出すリサイクル」

このビデオは、暮らしの中から出る資源物(古紙・空きカン等)がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。



詳しいことは

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045-316-4050
FAX 045-316-6050

『リサイクル今とむかし』リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。今回、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊『リサイクル 今とむかし』を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

好評発売中!



※グリーンバザール(南区六ツ川)に置いてあります

価 格 **350円** (税込)

フルカラー24頁

※送料は別料金になります

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

● マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ● グリーンバザール(南区六ツ川) ● ブックショップふれあい戸塚店(ダイエー横)・大船店 ● 地酒 篠原屋(港北区篠原) ● 神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ● 損保ジャパン横浜支店 ● 東京ガス環境エネルギー館 ● マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ● 相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ● マイカル天王町サティ店 ● ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ● カフェ社(港北区日吉) ● きまま舎(緑区霧が丘) ● うどんカフェ(青葉区こどもの国) ● 横浜国際ホテル(西区南幸) ● さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン店2F) ● リサイクルショップ「トロワの森」 ● 横浜国立大学生活協同組合学生会館店・工学部店 ● 神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町) ● リセールショップ遊眠

月刊 リサイクルデザイン No.117

発行日: 2004年5月25日

発行人: 秋元康男

編集人: 工藤健一

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

制作: (企) エコ・アド

印刷: (株) 横浜プリント

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

